

# 令和3年度 第1回 函南町地域公共交通会議 議事録

日時 令和3年8月30日(月)

午後1時30分～

場所 函南町役場 大会議室(Web会議)

出席者 別紙出席者名簿参照

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議 事

## (1)函南町拠点循環バス運行計画について 資料1

### ①運行計画について

### ②ルート沿線地域への説明状況について

#### 質疑、意見

会長	ただいま事務局より議題の(1)函南町拠点循環バス運行計画について説明がありましたが、これらにつきまして皆様方のご意見等を伺っていきたくと思います。何かありましたら挙手をお願いいたします。
●●委員	丁寧な説明ありがとうございました。 1点伺いたいのですが、先ほど最後に説明した資料1の運輸支局申請に関する資料の(1)の運賃の種類及び額で、回数券の場合は200円×11枚、2,000円、これは大人ということで、100円×11枚で1,000円、これは小児という形だと思うのですが、定期的場合は1カ月6,000円、3カ月18,000円、6カ月36,000円という定額で、これは大人、子どもの区別はないのですか。
会長	事務局、お願いします。
事務局	こちらは通勤通学に使うものと想定して設定したものでございますが、もし今後、子どもさんが定期券を買って使うというご要望があった場合、もしくは1回ずつ買うよりも定期として障害者の方が乗りやすい形で使っていきたいというご要望がございましたら検討していきたいと考えておりますが、今のところ200円の乗車の方が使えるような定期券を想定しているものでございます。
●●委員	わかりました。
会長	そのほかございますか。
●●委員	これについて説明がありましたが、周知するのに区長会とかいろいろなところを通してやるということなのですが、事業者がまだ決まらないのでその事業者が決まってからだと思いますが、前回のときにも発言させていただいたのですが、このバスが循環バスだという、新しいこの形での試行運転をやるんだという、バスは伊豆箱根か東海かわかりませんが、普通の路線バスと同じような形だと、この路線のバスかどうかわからないのではないかと。新しいバスをやるということを知ることには、このコロナの時期だからなかなか周知は難しいと思いますが、実証運行するということの結果を出すにはこのバスが今度新しくこのように走りますよと一見してわかるようにバスの前に何かつけるとか、前回●●委員からラッピングの話も出ましたが、ラッピングとなるとかなりお金がかかってしまうのであれかと思うのですが、バスの前後とか横とかそういうところにこのバスですよというものがわかるような表示の工夫をぜひしていただきたいと思っています。今のこの説明の中にはなかったものですから、その辺はいかがお考えになっていらっしゃるか伺いたくと思います。

会長	事務局、お願いします。
事務局	事務局でございます。こちらはバス事業者様のほうにマグネットシートの作成を併せて依頼をしようかと考えております。バスの運行とともにマグネットシートの作成、またバス停の設置、バス停の作成、そちらにつきましても入札の中でお願いしようと考えております。以上でございます。
●●委員	大きさがどれぐらいかだと思いますが、やはり 1m 以上ぐらいの丸いものか、何かそういう形で、遠くからでもこのバスだなと。新しいバス停ができていますので、このバスだったらこのバス停に行けばいいんだと一目でわかるようにぜひ努力していただければと。これが成功していただくにはバスが一目でわかるようにぜひやっていただければと思います。以上です。
会長	ただいま●●委員からもありましたが、表示というのは非常に重要なことだと思います。ぜひ特徴のある、一目見てわかるような形のものを事務局のほうでしっかりと考えていただければと思います。 そのほか。
●●委員	私も●●委員と同じくラッピングというか、一見してわかる、そういうバスを走らせることによって周知は当然時間的なロスも軽減される。バス会社の立場とすると、ラッピングするとほかの路線に転用しづらくなるんですね。ですから、その辺は本音として運行上、車検もありますから、そのときはどうするとか、やらない方向で考えるのはいくらでもできるんですね。でもやる方向で考えるならアイデアが出てきます。 ラッピングバス、これは私、伊豆箱根で見たりしました。パワフルキッズの子どもさんたちをラッピングしたんですね。それがとてもテレビ、新聞でも取り上げていただいて、多くの方々に喜んでいただきました。そのときの経費は 10 万円でした。ですからそんなに大した金額ではないんですね。質の高いラッピングをすともっとかかるのですが、あれは全面ラッピングしていました。それで 10 万円です。これは利益はありませんけれどね。そこは会社と交渉の中で協力していただけたところは協力していただくという中でやれば私はそんなに驚くほどの費用はかからないと思うんですね。そこをぜひバス会社と交渉を、見積もりを出していただければいいのかなと思います。以上です。
会長	事務局、お願いします。
事務局	ありがとうございます。意匠につきましてはバス会社さんと協議の上決定するというような形の仕様にしておりますので、またいい方法をこちらとしても検討して皆さんに多く認識していただけるような形で運行していきたいと考えております。ありがとうございます。
会長	そのほかございますか。オンラインの●●さん、どうぞ。
●●委員	何点かあるのですが、まず 1 点目、運賃のところについてです。別添 2 の (3) の適用方法のところ、大人運賃が中学生以上の者、小児運賃が小学生の者ということですが、その上のところ、6 歳未満の小児については無賃とするというところで、6 歳以上から小学校入学までの間が適用方法で漏れてしまっている形になってしまいますので、このところは書きぶりを漏れないような形で直してもらえればと思いますので、お願いいたします。 それから、バス停についてですが、これから道路管理者さん、警察さんと調整というところは了解しました。ただ、私有地内を走る、ゲートウェイは多分私有地内を走るのだと思いますが、私有地内のバス停の位置図のほうには私有地内でどのようなルートを通るのかというところも示していただければと思います。当然運行ルートは安全確認のほうも十分にさせていただくようお願いいたします。 もう 1 つ、バス車両の大きさがわかりましたらお示しいただきたいのですが、お願い

	できますか。以上になります。
会長	ただいまの意見につきまして、事務局、お願いします。
事務局	<p>バスの車両につきましては小型のバスということで、概ね 30 人乗り定員ということで業者を募るものですが、事業者の中で安全性の確認が取れましたら中型のものでよいということで、広くバス会社さんに入札に参加していただきたいという趣旨もごさいます。まだ確定ではございませんが、小型で想定しているものごさいます。</p> <p>最初にご指摘をいただきました運賃の適用方法につきましてはご指摘をいただきましたとおりの齟齬がないように記入をしてきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>私有地内のバス停ですが、そちらの軌跡図につきましては協議が整い次第作成をする予定ごさいます。またこちらの施設と協議するに当たって、概略図ではごさいます、作りまして協議に向かっておりますので、それが整い次第正式なものしてお渡ししたいと考えております。よろしくお願ひいたします。</p>
会長	よろしいでしょうか。ほかに。
●●委員	先ほど定期券のお話があったのですが、定期券は通勤も通学も同じ 1 種類しか作らないという認識だということよ良かったかということ、売り場は役場になりますでしょうか。この 2 点になります。
会長	事務局、お願いします。
事務局	<p>事務局ごさいます。ご指摘ありがとうございます。定期券につきましては、今通勤通学も含めて 1 種類というところ区別せずに作成する予定ごさいます。</p> <p>売り場ですが、こちらは事業者さんが決定次第、どういった形で販売するのかというところにつきましても詳しく詰めていきたいと考えております。以上ごさいます。</p>
●●委員	わかりました。ありがとうございます。
会長	<p>ほかに、オンラインで参加の委員さんの中でありましたら。なければ座長から総括を含めましてこの議事につきましてご意見をいただきたいと思ひますが、よろしいでしょうか。</p> <p>では座長、よろしくお願ひいたします。</p>
座長	<p>何点かあるのですが、今のお話のところに関連すると、定期券のメッセージ、それから売り場のメッセージは早くやらないと住民の皆さんにとっては非常にわかりにくくなってしまうのではないかという気がします。ですから、これは早くどうするかというのは決めていかないといけないだろう。</p> <p>それからもう 1 つは、9 月中旬までにバス停の位置を地域の皆さんと話し合っという話ですが、もちろんそれはすごく大切なのでいいと思ひのですが、それで公安協議といひますか、警察の方にも見ていただき、それから道路管理者の OK をもらいというよなことをやっいて、11 月ということになると、実は市民の皆さんにオープンにできるといひますか、どうやっ PR するのかなというのが全く触れられていないんですね。事業者さんは専門の事業者さんになるでしょうから何とかなると思ひのですが、住民の皆さんへどうやっ PR していくか。今の料金も含め、ルート、バス停、その他全部含めてどういっ形でおやりになるか教えていただかないと、これ、11 月からという時間的な制約を考えたときにすごい難しいのではないかという気がします。早くやっあげたいので、早くやっいただくのは大変いいことなので、どうやっ皆さんに PR していくかというあたりを教えていただきたいと思ひます。かなりしんどいスケジュールではないかという気がします。いかがでしょうか。</p> <p>それから、今大変いろいろなご意見をいただい、ほぼ皆さんこういっ形で検討して方向性が見えてきたというところだと思ひんです。ここまで来たので、ぜひ成功して</p>

	<p>いただけるといいなと思います。特に今の住民の皆さんへの話は少し皆さんにお知らせしていただけたら、説明していただけたらと思います。よろしく。</p>
会長	<p>それでは事務局、お願いいたします。</p>
事務局	<p>住民の方への周知方法でございますが、おっしゃられたとおりで、非常に厳しいというような感覚でいるのが事実のところでございます。チラシの各戸配布、またポスターの作成、そういったところが主なところになってくるかと思えます。</p> <p>また、町の情報発信ツールなども使用しまして、ホームページ、SNS等広く使って周知をしていきたいと考えておりますが、周知期間につきまして、11月開始というところをもくろんでいる中で、非常に短い中での周知ということになってしまうかもしれません、継続して乗っていただくためにポスターの掲示期間やホームページの掲載期間にこだわらず、継続して掲載していきたいと考えております。以上でございます。</p>
会長	<p>座長、いかがでしょうか。</p>
座長	<p>はい、ぜひ。</p> <p>この絵がオープンにできるのであれば、まだ場所が確定できないかもしれないけれど、今こういう形でやれるのであれば、これを皆さんにもう貼ってしまうとか、伊豆仁田の駅ではこういう路線ができますよというメッセージを出すとか、ぜひそういう具体的に、今ポスターを考えていますではなくて、やれることをやっておかないと意味がないのだろうと思うんですね。ぜひそこらあたりをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。11月といいますとあとすぐでございます。細かい点につきましてまだまだ詰めてかなければならないことがたくさんあるのも今日の説明の中でも話が出ております。民間の企業であれば、何らかのお店をオープンする、また事業を始めるといときには初日が勝負になろうかと思えます。初日でいい印象を与えないとお客さんは来ないというのが一般的だと思います。ですから、この事業につきましても、運行を始めて後からPRすればいいというような考えは役所の仕事ですからということで言い訳にはならないと私は考えておりますので、初日にしっかりと町民の方に周知をして、その日から町民の方が使っていただいて、そして町民の方が使ってよかった、使いやすいという形をしっかりと整えておかなければいけないと考えておりますので、事務局につきまして時間がなくて大変なところもございますが、いろいろな方法を考えていただいて対応していただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>そのほか、この件につきましては皆さんからご意見をいただきましたが、よろしいでしょうか。もしなければ、こちらにつきましては皆様の承諾を得ることになりますので、お諮りをしたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>それでは、会場にいる方は手を挙げていただいて、オンラインで参加の方は異議があれば手を挙げていただくということでお諮りしたいと思います。</p> <p>まず議題1、函南町拠点循環バス運行計画について、1と2とございますが、こちらを含めまして承諾いただける方は挙手をお願いいたします。</p>
	<p>(賛成者挙手)</p>
会長	<p>ありがとうございます。挙手全員ということで、こちらの計画につきましては承諾をいただいたということで事務を進めていきたいと思っておりますので、ご協力どうもありがとうございます。</p>

(2)令和3年度公共交通関連事業計画について **資料2**

①伊豆箱根バス「大場－函南線」バス停留所の設置について(提案)

②湯～トピアかなみ送迎バスの利用可能性について

質疑、意見

会長	<p>ただいま公共交通の関連事業といたしまして伊豆箱根バスの丹那地区のバス停の関係、それと湯～トピアかなみの無料送迎バスについて事務局より現在の現状の説明と報告がございました。委員の皆様より確認、また意見等がございましたらよろしく願います。</p>
●●委員	<p>この山間部にバス停を作っていただける方向で函南町またバス会社と協力して動いていただいておりますことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。</p> <p>ダイヤランドには約1,000世帯、1,800人がお住まいです。相当高齢化が進んでいる特殊な地域でもあります。そのお隣にはエメラルドタウンとか、そういう山間部には高齢者がたくさんいる。そういった方々のご意見も立場的にいろいろ耳にするのですが、とても喜んでおります。皆様の声をこの席をお借りしてお伝えしたいと思います。</p> <p>それと、ダイヤランドのほうではバス停が決まり次第、今度はダイヤランドの管理センターの社長ともかねてから何度も打ち合わせをしております、バス停が決まり次第ダイヤランド1,800人それぞれのニーズにできるだけ沿う形で個別輸送というか、そういうサービスを考えております。このサービスについて、ダイヤランドの管理費で賄っている関係でダイヤランドの住民に限りますけれども、しかしできるだけ多くの方、有償となると旅客運送法の関係がかかってきますので、そこはちょっと難しいのかなと思うのですが、山間部のそれぞれの地域で自治会があると思いますので、いろいろな提案をしていただければいいのかなと思います。本当に今まで全くなかったところに作っていただけるということで感謝の気持ちしかありません。ぜひとも実現をよろしく願います。ありがとうございます。</p>
会長	<p>ほかには何かその他ありますでしょうか。</p>
●●委員	<p>バス停の設置の件で、総務課の原さんと何度かご相談をさせていただいて、今回このような形で、経過報告という中ですけれども、ファミリーマートのところと食堂きみちのところということで記載があります。ファミリーマートのほうは実際道路管理者様のほうから、やはり何かしらの手立てがなければ難しいということの見解が示されたということで、ここは当社としては重々以前からそのような認識はあったのですが、今回代案ではないですが、(2)ということで食堂きみち付近ということで検討を始めています。</p> <p>ただ、ここは函南町さんとも相談の部分にもなるかと思うのですが、実際路肩は広いのですが、この地図の写真ですと車が停まっていけないのですが、およそトラックが多く、ちょっとした休憩という形で使っていたり、一般の車両も当然停まっていたりすることが多々あります。その中でバス停を設置するということになると、バス停の前後、駐停車禁止になるということも含めて、整理は必要かなと思っています。</p> <p>それともう1点、ここまでどうやってくるかということもちょっと議論しないといけないのかなというところがありまして、一般の方がここまで出てくるのは足のない人は容易ではないと思っていますので、物理的に置くことはできるというところの観点から言うとそうなのかもしれないのですが、ゆくゆくはそういったところまでご検討いただければと。やはりバス停を置くということは使っていただかないと弊社としても置くメリットというか、置く意味はあまり感じられないので、置くのであればどのような形であれご利用いただきたいと思っていますので、ここに関してはもう少し総務課様と検討</p>

	させていただきたいと考えています。以上です。
会長	<p>ありがとうございます。今伊豆箱根バスさんと湯〜トピアかなみさんの関係がありましたが、どちらにいたしましても事業者の方の協力がなければ実現しない計画だと思っております。事務局としましてはその辺もしっかりと把握をした上で計画を作っていたらと思います。</p> <p>そのほか何かありますでしょうか。社会福祉協議会さん、お願いいたします。</p>
●●委員	<p>前回の会議で大場―熱海線の田原野線経由で運行していただいてオラッチェに接続点を設けたらどうですかということで提案させてもらったのですが、それについては検討いただけましたでしょうか。</p>
会長	事務局、お願いします。
事務局	<p>事務局でございます。ルートを変えるというようなご趣旨のご発言かと思われませんが、まずは今走っているところのルートを変えずに、停車、乗車していただける位置、そちらをできるところからやっていただけないかというところで伊豆箱根バスさんのほうにお願いできればという立場でございますので、まずそこから始めさせていただければというところでございます。1度にルート変更、またバス停の設置、そういったこととなりますと、非常に時間がかかってしまうというところがございます。まずできることをやっというところでございますので、2つの候補地の中でいずれか可能性の高いほうをまず先に進めていきたいという考えがございます。</p>
会長	よろしいでしょうか。
●●委員	<p>関連ですが、バス停設置の実績ありきではなくて、少し実用性のあるものでないと、せっかく検討しても。急いでやるよりもいろいろな方の利用ということ考えた場合に、今回きみちということですがけれども、人里から1kmも離れたところで利用者がどうかというのは誰しも思うことであって、それで多少時間がかかっても地域の人々の利用度が高いところに作るという努力が必要ではないかという気が、ご検討いただけますか。</p>
会長	事務局、どうぞ。
事務局	<p>事務局としましては、もちろん地域の声が多くなってくれば、その声をもとに事業者さんのほうにお届けをしてルート変更だとか、そういったものも含めてこの会議の場でお諮りをさせていただくというところがございます。地域の声というものは大事にしていきたいと思っておりますが、あくまで事業者様が運行している路線というところがございますので、またよく協議をしながら進めていきたいと考えております。</p>
会長	●●委員さん、よろしいでしょうか。
●●委員	<p>先ほどの繰り返しになりますが、なお一層役場で努力していただいて、丹那地区の利用ができるよう高齢者等のための公共交通が一日も早くでき上がる努力をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>そのほかありますでしょうか。もしなければ座長のほうから総括してこの件につきましてご意見をいただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
座長	<p>今のお話ですが、先ほど●●委員からもお話がありましたが、アクセスで地元の皆さんと1度お話をされた上でこういう話になってきているのだらうと思っておりますので、あとは道路管理者さんと、それから公安協議、いわゆる警察署の皆さんとここでいいかどうかというあたりをかなりシビアに検討していただくことにならうと思うんですね。ここにどうやってアクセスしていただけるかというのはまた地元の皆さんともお話しいただくだらうと思っております。</p> <p>伊豆箱根さんのほうで大場―熱海線のこのエリアの需要が増えてくるということはずごくいいことだと思うのですが、そういう意味でせっかく作るのであればそれなりの</p>

	<p>ご利用をいただけるような仕組みを作っていく、どうやったら皆さんが使えるかというところも考えていくべきだろうと思います。</p> <p>それから、今社協さんのお話がありました。これは次のステップとして、1番目に今の循環バスの計画の話があったように、これからバス路線そのものをどうするかというあたり、これは循環バスの運行をした上でどのような形で我々は函南町の町民の皆さんが使いやすい仕組みにできるかというあたりをもう1度チェックしていくということが要るのだろうと思います。そこでまたお考えいただくのではないかと思います。路線をころころといっぱい変えるというわけにはいかない。1度やったらちゃんとそれで定着するまで皆さんに考えていただく、またご利用いただくということが必要ですから、ルートとかそういうのをやろうとするのであれば慎重にやらなければいけないでしょうけれど、時間的にもなるべく早めに皆さんに議論をしていただけるといいなと思います。</p> <p>それから、湯〜トピアの話ですが、これについては無料の送迎バス路線ですので、支局のほうで検討していただくということになっているということですから、ぜひこういうサービスができるのであれば喜んでいただけるのではないかと思いますので、よろしくお願いたします。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。そのほかの委員は。</p> <p>皆さんのほうからご意見をいただきました。こちらの2計画につきましては、先ほども申し上げましたけれども、事業者さんの協力がまず必要であるということと、既存の設備、施設、そういったものの有効利用がまだまだできるのではないかと。特に丹那のほうの路線の停留所につきましてはそういった点で町の事務局といたしましても既存の考えにとらわれないで、新しいアイデアをどんどん出して可能性を探っていただければと思っております。</p> <p>また、関係の各社につきましては、ぜひお知恵をいただきましてご協力をいただければと思っております。</p> <p>この件につきましては、途中現状の説明と報告ということで、以上にさせていただきます。</p>

### (3) 桑原区・奴田場区 高齢者移動支援事業(デマンドタクシー)の試験運行について(福祉課)資料3

#### 質疑、意見

会長	<p>現在計画が進んでおります桑原区・奴田場区の高齢者移動支援事業の試験運行について福祉課より説明がございました。委員の皆様よりご意見、ご質問等がございましたらお受けしたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
●●委員	<p>ちょっとお聞きしたいのですが、登録者は区内在住の65歳という縛りがあるのですが、付添者は特に年齢は関係なく申請ができるという考え方でよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>事務局、お願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。ただいまの質問につきましては、基本付添者は介助が必要な方というところを想定しておりますので、お子さん、子どもと一緒にいくというような状況でなければ、成人の方、息子さんであるとか、娘さんであるとか、親戚の方であるとか、そういったところを想定しております。</p> <p>なお、付添者と利用者が別々の場所で降りるところは考えておりませんので、基本一緒の場所で降りて一緒の場所で乗ってもらうというふうに考えております。以上でございます。</p>

会長	よろしいでしょうか。そのほか。
●●委員	<p>前にもこの件についてお伺いしたと思っているのですが、今回この2台の試験運用ということなのですが、本格運用はあくまでこの2台の本格運用という意味ですよ。要するに何を言いたいかというと、将来的にこれをほかの地区にまで拡大するような計画があるのかなのかというのが1つ。</p> <p>それと、あくまで福祉という名目でやっているの65歳という縛りがあるのですが、今回循環バスはどちらかというと函南町の面をフォローしている。それに対してデマンドタクシーというのは点をフォローできれば非常に有効性があるのではないかと思うんです。そうすると、福祉だけでなく、例えば児童、地域によっては結構通学が危険な場所があると聞いていますので、そういうところまで対象に入れるようなことを、当然費用がかかる話なので何でもかんでもというのは非常に難しいかもしれませんが、あくまで町のみんなが便利になるような形で、手を挙げたらそこはやってもらえる、そうじゃないところはやってもらえないということではないと思うので、むしろもっと積極的に町からほかの地域に、おたくはどうですかという、ちょっと言い方は悪いですが、押し売りではないのですが、そういうアピールももっともっと今後は必要になるかなと。今とりあえず何だかんだ言わないで、この2つをうまくやっていくことが重要なんだと思っています。</p> <p>それと、私の認識不足だと思うのですが、これは予約がいっぱいになってしまった場合はどうなるのか、聞いておきたいと思います。よろしくお願ひします。以上です。</p>
会長	事務局、お願ひします。
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>まず1点目のお話ですが、今回まさしくそのとおりで、高齢者を対象とした2地区を試験的に運行するという形になっております。こちらにつきましては本当にどういう状況になっているのかというのがわからない状況なので、そういったところをしっかりと町として押さえながら評価検証しながら、最終的にはほかの地区で実施するとか、今現在高齢者という縛りになっていますが、最終的には交通空白地と言われる場所で縛りなくやるということまで持っていければ事業としては成功するのかなと考えていますので、そういったところまでしっかり見据えながらやっていきたいと考えております。</p> <p>2つ目ですが、まず今回タクシーでやるのですが、タクシーがそれぞれ奴田場区、桑原区1台ずつ用意されているというわけではなくて、例えばその時間帯1便で8人の方が一気に予約したとなりましたら、タクシーは2台とか3台とか出すようにしております。なので、何人になってもその時間帯で車がないからごめんなさいというところはないというような状況になっています。</p> <p>反対に、例えば1便では4名の申し込みがあったけれども、3便では何も申し込みがなかったというときには、そのタクシーは出しませんので、一般のお客さんを乗せて営業しているとか、そういう状況になっていますので、予約が入ったらタクシーを出すというような状況で考えています。以上です。</p>
会長	よろしいですか。ほかにはありますでしょうか。
●●委員	<p>いつもお世話になっております。</p> <p>1つ質問ですが、今回のこの事業につきましてですが、デマンドタクシーということで高齢者の登録制度による予約型の乗合タクシーという認識でいるのですが、それに試験運行、当然実証実験的な試験運行をやって、その後、評価をするに当たってのいわゆる見込み値ですとか目標値、その辺の設定がされているのかどうか。例えば実働率だったらどれぐらいの実働率、あるいは乗合率だとかどのぐらいの乗合率を見込んでいるの</p>



	か、それとも目標としているのか。そういった設定値が奴田場区、あるいは桑原区にありましたらお聞かせください。以上です。
会長	事務局、お願いします。
事務局	ただいまのご質問につきまして、基本的には現在目標値というものは設定しておりません。お話のとおり、乗合率だったり、収支率だったり、登録者の見込みだったり、そういったところというのは今後設定をしていく予定ではおりますが、今回に関しましてはまず皆さんがどのぐらい使ってくれるのか、何便で使ってくれるのか、そういったところを本当に事業の手始めの段階としてまずは3カ月やって、それをもとに乗合率であったり、収支率であったり、利用見込みであったり、そういったところをしっかりと目標数値を設定しまして1年ぐらいの実証実験ができればいいのかなと現在考えております。以上でございます。
●●委員	ありがとうございます。
会長	そのほかありますか。ご意見がなければ、座長からこの件につきまして、全体を通じましてお願いしたいと思いますが、よろしく願いいたします。
●●委員	1点だけお聞かせください。運行事業者さん、タクシー事業者さんの決定はいつぐらいの予定か。もう決まっているような状況でしょうか。そこだけ教えてください。
会長	事務局、お願いします。
事務局	ご質問ありがとうございます。ただいまの件につきまして現在未定でございます。時間もスケジュールもございますので、早急に対応したいと思っておりますが、事業者選定の方法につきましても近隣のデマンドタクシーを実施している市町を参考にしたり、町でしっかりと適正な判断をし、検討し、選定していきたいと考えております。以上でございます。
●●委員委員	ありがとうございます。
会長	それでは、座長、よろしく願いいたします。
座長	私も今それを聞こうと思ったのですが、12月1日から始めるというのに、事業者さんの選定方法も決まっていないでは話にならないと僕は思いますが、いかがですか。 それから、あと2つあります。1つは利用者の登録申請というのはいつからいつまでやるのでしょうか。試験運行ですから、ずっと試験運行している間も申請してもらおうということにするのでしょうか。できるだけたくさんの方に登録申請していただかないとなかなか難しいのかなという感じがするので、あまり難しい申請にすると皆さん困ってしまうし、申請だけするけれど、あとは使いにくいという話にならなければいいなと思っているんです。ですから、そこは手続きのやさしさとか、そういうのを教えてあげてほしいと思うんですね。それが1つ。 それから、もう1つは、先ほどタクシー協会さんからもお話がありましたが、これ、本格運行にしていきたいということになると基準、いわゆる評価の仕組みというものをちゃんとしておかないと、結果的にどうなるのか全くわからないままスタートしてしまう。後でどういう評価をしましょうかという話になったときに非常に困るのではないかなと思うんですね。難しい評価をする必要はないと僕は思うんです。何も乗合率が低かったらあかんのやとか、人数はこれだけできなければ駄目だとか、そういう評価ではなくて、みんなが利用していけるにはどうやったらいいのかということをお考えいただけるような評価の仕組みを作っていかなければ、結果的にこれ、皆さん使っていたらどうかかわからないよという話になってしまう。だったら地元の皆さんと何で話し合うのですかという話になってしまう。だから、こういうのは目標としてこれぐらいはみんな乗ってほしいよねとか、みんなで利用しようねという話が出てきて、実は乗合

	<p>率ってすごく難しいですよ。1.5 なんて大変ですよ。2 という、僕の知っている中山間でお手伝いしているところがあるのですが、その乗合率は 2 を超えています、2 というのは 1 回 1 人の方が利用したら、次は 3 です。そんな利用の仕方って大変な利用をしなければいけなくなってしまう。だから、乗合率というのをあまり大きく見てしまうとすごくつらい話になる。けどたくさん乗っていただかないと結局はだんだん忘れられて、使う人が固定化されてしまう。非常につらい話ですが、地元の皆さんも含めて私はある程度目標としてこのぐらい利用していただけるといいねとか、みんなで利用するとこんなだねというのが地元の皆さんたちと話し合いながら目標値というのは設けようという言い方がいいか悪いかわかりませんが、何らかの形で利用する人たちの、先ほどの目標という言葉がいいかどうかわかりませんが、何らかの形で目安みたいなものは私は持っておかれたほうがいいのではないかと思います。そこら辺がないというお話でしたので、ちょっとそんな気がいたしました。質問も含めてお答えをいただけるとありがたいです。</p> <p>大変いい話だと。タクシーはもともとデマンドですから、乗合というところが今度の筋だと思うんですね。ですから、そのあたりを皆さんと一緒に考えていただいたことだと思います。よろしくお願ひします。</p>
会長	それでは、事務局、お願ひします。
事務局	<p>ご質問ありがとうございます。まず 1 点目の登録申請はいつからいつまでですかというご質問ですが、基本的にはまず手始めとしましては、21 条の許可申請をするのですが、それと同時に地元のほうに入りまして事業の最終的な説明をさせていただきながら、周知と同時に申請書の配布、回収もそのときにまずはさせていただければと考えております。それ以降につきましては、例えば区長さん、区に置いておくとか、福祉課にも置いておくとか、そういった形なるべく登録者様、申請者様の手を煩わせないような形での申請方法を考えておりますし、さらに事業が始まって以降は引き続きそういったことはやっていければいいのではないかと考えております。</p> <p>2 つ目のお話ですが、目標値であるとか数値的なものですが、そちらにつきましては伊豆原先生からお話を伺ったとおり、まずは利用者である地元の方々との話が一番大事なのかなと考えておりますので、聞き取り調査を行う等、意見交換をしながら、どうやって利用していく、どういう形で利用するのが一番皆さんにとっていいのかというところを考えながら、そういうところの設定をさせていただければと考えております。</p> <p>最後になりますが、まだ業者が決まっていないというところは早急に手続きを取り、迅速に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございます。目標という言い方が、目安という言い方でもいいと思うのですが、地元のご利用になる皆さんがこれぐらいはみんな利用できるというような目標値みたいなものを作っていただくというのがすごく大切だと思うんです。こちらから押しつけではなくて、自分たちがこういうのを利用したら楽しい、いい仕組みをみんながやっていこう、だったらどこか改善していこうよ、こうやったらもっと乗れるねとか、そういう議論を地元の皆さんに、だって今の高齢者の方たちって、こんなことを言ったらいかんですが、実は気になっているのはコロナで外出自粛している高齢者がすごく多いと思う。外出しないのが当たり前みたいな、いわゆる外出することの楽しさみたいなものがなくなって、1 年も 2 年も外出しないと、外出しないのが当たり前の社会というか、日常になってしまう可能性がすごく大きいんです。だから、この仕組みを利用してみんなで外に行こうという話、もちろん感染はいかんですからその予防はちゃんとしなければいけないですが、そういう仕組みに、皆さんが考えていただけるようなものにしていかないと、結局外出自粛というのが当たり前の社会にならないように</p>

	<p>していくのがすごく大切かなと思うんですね。そのあたりを一緒になって考えていかないと、結局会員登録の話だとか、手続きの話じゃないとか、いろんな話がいっぱいなくなってしまおうと結局使い勝手が悪くなってしまおうんですね。ですから、そういうところも含めて目安なり目標みたいな、楽しく外出するということを見てあげるということがすごく大切かなと思います。ぜひそのあたりも皆さんとお話し合いをしてください。よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ほかには何か。よろしいですか。</p> <p>今伊豆原先生からもありましたが、目安が必要だということで、これは先ほど鈴木委員からもありましたが、今回は福祉としての支援の事業ということですが、将来的に発展をしていくということに関して考えたときには、その場合にはどのぐらいの目安が必要なのか、どのぐらいの目標が必要なのかということも含めてやっていかないと事業として成り立っていかないというのが現実かなと思いますので、今回はまずはやってみるということにはなろうかと思いますが、その先を見据えた中で計画、またいろいろなデータを集めるということでしっかりと計画を練っていただきたいと思います。</p> <p>この件につきましては皆様のご承認が必要になります。今回のこの計画につきまして、承認をいただける方につきましては挙手をよろしくお願ひいたします。</p>
	(賛成者挙手)
会長	<p>ありがとうございます。挙手全員ということで、この件につきましてはご承認をいただいたということで、今後手続きを進めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>本日の議事、報告事項につきましてはこれにて終了ということになりますが、全体を通じまして座長から何かございましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。よろしいでしょうか。</p>
座長	<p>どうも皆さんお疲れさまでした。今日は大変いいお話をたくさんいただきました。公共交通のご利用が、多分今のバス会社さんも大変ご苦労されていると思うんですね。これでまた感染が収まっていないという状況でどうしたらいいかというあたりをみんなでお考えなければならぬ時期になっていると思ひます。</p> <p>ただ、ワクチンを皆さん接種していただくと少しは安心感が広がっていくのかなと私も期待しているのですが、そういう意味で、先ほどちょっと言ひましたが、いわゆる自粛が当たり前の社会ではないんだと。これからコロナが少し沈静化していってもらえると大変いいのですが、そのあたりで少し皆さんと一緒にアフターコロナに向かってどうやったら皆さんが楽しい、いい生活をしていただけるような仕組みになっていくかというのをもう1度私たちは考えなければいけない時期だと思うんですね。</p> <p>ですから、こういった事業を展開していただくのは大変いい話なので、そのあたりも含めて住民の皆さんと、それからこの委員会の皆さん、いろいろご提案なりお知恵を出していただくと大変ありがたいと思ひます。私にはあまり知恵がなくて申し訳ないのですが、そういったことを考えながら今お聞きしておりました。ぜひこの事業がいい方向へ向かうように何とかみんなでお努力していただけるといいなと思ひます。少しでもお手伝いできたらと思ひますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。</p>
会長	<p>座長、ありがとうございました。本日はオンラインによる会議ということで、不慣れな中で会議を進めさせていただきました。これもまた今後、例えばコロナがある程度収まっても、こういう形態というのはいいところは継続していかなければ、メリットは使っていくということになるかと思ひます。それは公共交通についても同じではないか</p>

	<p>と考えております。そういった視点を踏まえまして、今後の計画のほうにも反映をさせていければと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、本日の議事につきましてはこれで終了しますので、事務局に。</p>
●●委員	<p>ちょっとすみません。まだ議事が終わっていないんじゃないですか。湯～トピアかなみ無料送迎バスについてのご説明はありましたか。</p>
会長	<p>それは先ほどしたのですが。もしあれならもう1回しましょうか。</p>
●●委員	<p>もう少しこの関係を詳しくお願いしたいんです。湯～トピアかなみ無料送迎バスは役場での乗降が可能になる見込みはありますか。</p>
会長	<p>事務局、どうですか。</p>
事務局	<p>今●●委員からご質問がございましたので、ご回答させていただきます。</p> <p>湯～トピアかなみの無料送迎バスにつきましては、今無料ということで運行してるところなのですが、町のほうが施設の委託管理をしている中で事業者がバスを出しているという状況でございます。そういった中で、町がバス事業に対して費用を捻出しているのかどうか、そういったところを、法的な部分でございまして、運輸支局さんのほうに今無料で運行している状況、そちらについて法的な許可が必要かどうかをまず現状を見てもらっています。それは契約形態とか、そういったものをご提出させていただきますとご確認をいただいているところでございます。まだ確定というか、確実なご回答はいただいておりますが、もちろん事務局としましては有効利用ができればいいなというところを目的に質問を投げかけている状況でございますので、許可が必要であれば許可を取るような形でできればというところでございますし、もちろん函南町役場で乗り降りできれば、それは山間地にお住まいの方々とか、交通空白地域、大竹、パサディナ地区の方、そちらの方についても有効利用が促進されますので、そういった形で可能性があるのであればということで私どもは進めているものでございます。</p>
●●委員	<p>これは湯～トピアかなみバスですね。これは事業の一環でしているの、旅客運送法はかからないですね。間違いなく。途中の乗降、これは事業者さえOKしていただければ法的に問題はないはず。それ、中部運輸支局に確認してください。それ、確認次第、皆様方にお伝えさせていただきたいと思えます。</p> <p>それと、前からお話ししておりますスクールバス、これを一般路線バスにすれば、今丹那の先ほど委員の方がお話しされていましたが、熱函の回送バスを丹那に回してほしい。それは丹那にお住まいの方は当然そう思われて当たり前話なんですね。ただ、予算が有り余るほどあれば、またバス会社の運行経費、こういったのを視野に入れながら考えると、なかなかそのようなご期待には沿えないというのがバス会社の本音なんですね。これはなかなかバス会社として本音を言いづらいですから私が代わりに言いますけれどね。</p> <p>スクールバスを路線化することによって、今丹那にたくさんバス停があるんですね。そのバス停はご近所に、本当に歩いてすぐのところたくさんある。今学生しか乗れないから不便なんですね。あれを一般路線化することによって丹那の方はとても生活する上で利便性が向上するのではないかと。確かにスクールバスだけでそのニーズに応えきれないことはない。湯～トピアバスもそう。熱函を走る回送バスもそう。1つ1つは大した利便性はない。しかしいくつか複合的に利用できることによって全体として利便性が上がるんですね。ですから、スクールバスをぜひ一般乗合路線として運行していただくというふうにすると丹那の方々の生活はとてもそういう面では向上するのではないかとと思えますので、ぜひともご検討をよろしくお願いいたします。以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。●●委員さんがおっしゃられるように、1つ1つの公共交通、特に既存の地域資源を総動員して取り組むということがとても重要だと私どもも考え</p>

	<p>ております。</p> <p>今日は湯～トピアかなみのバスの途中経過というところでしかお話しはできなかったのですが、当然公共交通網形成計画の中にもスクールバスについてもしっかりと明記をされているものがございますので、やはりそちらも今後の検討、協議というところで対象にはさせていただくところで、多くの方がスクールバスは関係する方もいらっしゃると思いますので、その方々への丁寧な説明、それからご了解というところを目標に、路線バス化というところを目標に取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
●●委員	<p>湯～トピアかなみのバスの件ですが、若干補足させていただきます。函南町さんからご相談はいただいております、契約形態ですとか、そのあたりで確認が必要などころがあるものですから、上局を通じて確認中です。できる、できないですとか、こうすればできるというところまで含めてまたご回答できると思いますので、いましばらくお待ちください。</p> <p>あと、スクールバスの活用等々のお話もあるのですが、法的な整理が大変難しいところが多々あるものですから、函南町さんのほうである程度整理いただいて、こんなことを考えているんだけどということでご相談いただければうまくできる方法は支局のほうも一緒に考えながらやっていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひします。</p>
会長	<p>先ほど総務課長からも話がありましたが、いろいろなツールを上手に使った中で、また法的な問題もクリアする中でアドバイスをいただきながら今後進めていきたいと考えております。ただ、一足飛びにはなかなか行かないというのが現状ですので、事務局、また町としましてもその都度皆様にご報告、ご相談をさせていただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、本日の議事につきましてはこれで終わりましたので、事務局に戻します。</p>
事務局	<p>それでは、皆様方、大変長時間にわたり慎重なご審議、ご意見をいただきましてまことにありがとうございます。</p> <p>閉会の前に1点だけお知らせをさせていただきます。次の地域公共交通会議は概ね1月ごろを予定してございます。</p> <p>先日三島市から申し出がありまして、現在三島市内の公共交通のルートの見直しを令和4年4月1日から計画しているというところでお話をいただきました。変更する路線につきましては、大場駅から東大場分譲地への路線バスについて、路線バスとジャンボタクシーを併用したもので、ルートについては一部上沢の病院通りですとか熱函道路を含めた形で新たに計画しているというところで、こちらがもし実現すれば函南町の方、沿線の方ですけれども、ご利用いただけるのかなど。</p> <p>また、中里地区を運行している中里号というところも見直しをしていて、一部を函南町を通過するというところで伺っておりますので、今のところ1月ごろに予定している次の会議のときに三島市さんのご意向の中である函南町を通るというところでは函南町の地域公共交通会議のご承諾をいただきたいというところで事前にお話しがあったので、次回は三島市の職員の方が会議に参加していただいて、こちらの紹介をさせていただきながら、ご了解をいただきたいというところでもありますので、予めご承知おきください。資料はそのときにまたお渡しする形で対応させていただきたいと思っております。</p>